

● 本マップの目的

「山田町総合防災ハザードマップ」は、町で起こりえる災害のおそれを地図に示した「ハザードマップ」です。もしものときに少しでも被害を軽減するため、町民のみなさんは想定される災害について知り、対策を考え、実際にできることから取り組んでください。

1 知る ▶ 2 考える ▶ 3 備える



まずは、自宅や学校、職場などにどのような災害の危険性があるかを知りましょう。



想定される災害に対して、いざというときに何をしなければならないのかを考えてみましょう。本マップに記載されている、避難情報やとるべき行動、心得などを参考にしてください。



災害に対応するには、日頃の備えが重要です。災害が発生する前から防災対策に取り組み、いざというときに備えましょう。

● 目次

はじめに

はじめに	1
本マップについて	2
洪水・土砂災害	
洪水災害について知ろう	3
土砂災害について知ろう	4
避難の仕方について(洪水・土砂災害)	5
避難時の心得(洪水・土砂災害)	6
マイ・タイムライン	7
洪水・土砂災害ハザードマップの見方	9
洪水・土砂災害ハザードマップ	11

地震・津波

地震・津波について知ろう	29
避難の仕方について(地震・津波)	30
避難時の心得(地震・津波)	31
津波に関するコラム	32
津波ハザードマップの見方	33
津波ハザードマップ	34
災害に備えて	
非常持出品・備蓄品	42
事前にできる対策、地域での取り組み	43
指定緊急避難場所・指定避難所一覧	45
防災情報の入手先、わが家の防災メモ	47

● 地域で想定される災害の種類

町では、台風や大雨などによる洪水(外水はん濫、内水はん濫)・土砂災害、地震による津波が発生するおそれがあります。自宅や学校、職場などの近くでは、どの災害が想定されているか、各災害の詳細を地図で確認しましょう。

洪水



台風による大雨や局地的大雨、集中豪雨などにより洪水が発生します。

土砂災害



山や、がけ地では大雨などによる土砂災害が発生します。

津波



海底で大きな地震が発生すると、急激な海底の地形の変化によって大きな波が発生して、陸地に大きな浸水被害が発生します。

● 本マップの使い方

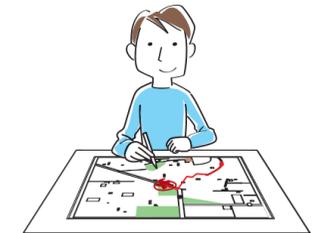
1 自宅などを見つけましょう ▶ 2 避難する場所を確認しましょう ▶ 3 安全な避難経路を決めましょう



自宅や学校、職場などの周りでは、どの災害が想定されているか確認しましょう。



自宅の最寄りの避難場所に印をつけましょう。また、第2候補、第3候補も決めましょう。



自宅から避難場所までの避難経路を考えましょう。川・海・山の近くを通るルートは危険なので避けましょう。

4 実際に避難経路を歩いてみましょう ▶ 5 家族で話し合いましょう ▶ 6 学校や地域で考えましょう



足元が悪い状況でも安全に避難できそうか確かめましょう。地図上では分からない危険が潜んでいるかもしれません。



災害時の行動や連絡先について家族と話し合い、マイ・タイムライン(7~8頁)や、わが家の防災メモ(47頁)に書き込んでみましょう。



学校や地域で災害について話し合うことも大切です。いざというときには周りの人と協力して避難しましょう。